



明化の教育

11月号 (第472号)
令和元年10月31日
文京区立明化小学校
校長 溝畑 直樹



実りの秋 in 明化小



副校長 松下 由紀子

先週土曜日は授業公開と明化くすのき祭を開催しました。前日の大雨から一転、爽やかな秋空の下での開催となりました。保護者の皆様には、明化くすのき祭の運営に力を尽くしていただき、本当にありがとうございました。

2学期も半ばが過ぎましたが、ここまでも「実りの秋」にふさわしく様々な行事がありました。145周年記念集会を皮切りに、1・2・3年生の遠足、4年生の社会科見学、5年生のウィルチェアラグビーワールドチャレンジ観戦、6年生の陸上記録会、授業公開・オータムコンサート・くすのき祭等と、子供たちは様々な教育活動に意欲的に取り組み大きな成果を得るとともに、それぞれの成長をみることができました。

5年生は、東京2020パラリンピック競技大会の種目である車いすラグビーの世界大会の観戦のチャンスを得、フランス対ブラジルの一戦の観戦をしました。ウィルチェアラグビーは車椅子同士のぶつかり合いが唯一認められているパラスポーツで、選手達の迫力ある戦いぶりや華麗なチームプレーで得点をとる姿に子供たちは目を奪われながらも一生懸命応援をしていました。明化小はブラジル側の応援席でしたが、次第にフランスとの点差が開いていきました。それでも5年生は「ブラジル、ブラジル!」と大きな声で最後まで応援を続けました。また、6年生も陸上記録会では自分の競技の頑張りだけでなく、立派な応援の姿を見せてくれました。明化小の選手が出るといつの間にか周りの友達と協力して明化小タオルをつなぎ大きな声援で盛り上げたり、他校の目覚ましい活躍に対しても惜しめない拍手や声援を送ったりと、会全体に全力で取り組みました。どちらの学年も自分が実際に競技を行っていない時でも選手達を応援によって励まし、精一杯参加していました。このような他者のよさを自分の喜びとして感じる共感する力、それを周りの人とともに表現し伝えることができるのは、社会でよりよく生きるための大切な素養の一つだと思います。今後も様々な活動を通して何事にも真剣に全力で取り組み、周りによい影響を与える姿を後輩達へ引き継いでほしいと思いました。

今年もあと2ヶ月を残すばかりとなりました。11月は、学芸会も控えています。本番での演技に期待するとともに、大きな行事を通して子供たちの更なる成長を楽しみにしています。



1・2年生遠足



3年生遠足



5年生ウィルチェアラグビー
ワールドチャレンジ



4年生社会科見学



6年生陸上記録会



オータムコンサート
くすのき祭